

# 米北サッカー 総体優勝!

## 北高二ユース

### 祝・十連覇!



六月十一日に東山陸上競技場で鳥取城北高校との決勝戦に挑みました。会場は、たくさんの方の観客で埋め尽くされていました。城北は、北高の二倍以上の応援団がいましたが、北高の応援も負けなくらい大きな声援を送っていました。

前半は、ボールを圧倒的に支配してゴールまで繋げたが、最後でシュートを決めきれず得点を奪えなかった。また、相手のゴールキーパーが鉄壁の守りを見せ、何度もシュートを試みるが、枠を捉えることが出来なかった。その結果、〇対〇で折り返した。後半は、風が味方しロングボールを有効に使い、六分、坂田二千翔選手が左サイドを崩し、ボールを戻し、これが中央で混戦となるが、ボールを奪った阿部優貴選手が右足を振り抜きゴールした。十一分、坂田二千翔選手の左側のコーナーキックを葉間田累選手が頭で押し込んで二点目を取った。十九分、坂田二千翔選手の左側のコーナーキックを宮本薫選手がヘディングシュートをし、こぼれ球を佐野海舟選手が頭で押し込み三点目を奪った。その後、坂田二千翔選手の左からのクロスが中央で混戦となるが、馬場琢未選手が抜け出して四点目を決めた。最後に、右サイドの馬場琢未選手からのクロスを佐野海舟選手がダイビングヘッドで決めて五点目を取り、試合は終了した。その結果、五対〇で完勝した。

この試合に勝てば十連覇というプレッシャーに打ち勝ち、十年連続十三回目の優勝を果たしました。今大会では、二回戦目から決勝戦まで無失点で勝ち進みました。そして、見事インターハイ出場を決めました。

## キャプテン三原貫汰選手にインタビュー!

この度、新聞部では十連覇を達成したサッカー部のキャプテン三原貫汰選手にインタビューをさせていただきました。

Q1、優勝した時の気持ちを教えてください。

A、とてもうれしかったです。しかし、県総体優勝は自分たちの目標への通過点なのでこれから始まるプレミアリーグ、インターハイに向けて、またトレーニングをしっかりしていきたいです。

Q2、今回の県総体は勝てば十連覇という状況でプレッシャーはありましたか。

A、ありませんでした。A、ありました。優勝するためにどうしたらいいのかを、選手同士で考えて話し合ったことで、不安な気持ちよりやれるという思いのほうが決勝戦に近づくにつれて強くなっていきました。

Q3、県総体の試合の中で一番印象に残ってる試合、場面は何ですか。

A、決勝戦です。チームが一つになって戦い優勝することができたからです。なかなか点が入らなくて苦しい時間帯に大きな応援の声が聞こえてとても力になりました。

Q4、決勝戦では、前半〇対〇で、後半五点多得点が決まりました。何かきっかけや心境の変化でもありましたか。

A、自分たちは今までの先輩たちに比べて、力がないので前半で引き分けでもあせらなくていいと思って試合をしていたので、後半もやることを変えずに攻め続けた結果、先制点が取れて、流れに乗ることが出来ました。

Q5、キャプテンとして、日頃から大切にしていること、心がけていることは何ですか。

A、チームのことを常に考えることと、たくさんコミュニケーションを取ることです。チームをまとめたりするのは、自分だけでは力不足なところがあるので、副キャプテンや三年生全員と協力してやっています。

Q6、ずばり、今後の目標は何ですか。

A、インターハイで、ベスト4以上に入ることです。去年、一昨年とベスト8まで勝ち進む先輩をみてきて、自分たちはその一つ上のベスト4まで、勝ち進みたいと思っています。そのために大会までの一ヶ月と少し、日々のトレーニングを大切にしていきたいです。

Q7、サッカーを応援して下さる方へメッセージをお願いします。

A、いつもサッカー部を応援して頂きありがとうございます。たくさんの方の応援のおかげで県総体で優勝することが出来ました。プレミアリーグやインターハイでも、応援よろしくをお願いします。